

STOP THE ATTACKS CAMPAIGN NEWS

2021.10.8



「フィリピンに人権を！フィリピンにおける超法規的殺害(EJK)を食い止めよう！」
皆さまの優しさが、声をあげることによって弾圧され続ける被害者やその家族の希望です。

ドゥテルテの支持率が「高い」のはなぜか？

政権末期でも「高い」支持率続く理由

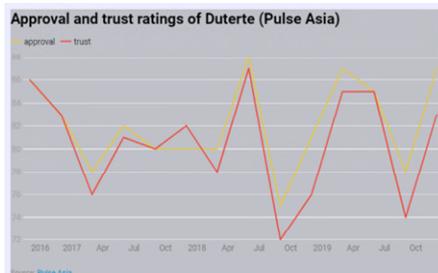
【解説】次期大統領選挙まであと8か月。フィリピン憲法は大統領の任期を1期6年に限り、再選を禁じている。任期満了が迫り、政治の世界は選挙モードに入った。もはや現大統領の存在感は低下するのが常だが、今回はそうなりそうにない。なぜなのか。その理由からフィリピン社会で、いま何が起きているのかを考えたい。



【写真】ドゥテルテ支持者たち／via facebook of Digong Duterte Supporters

発足以来、高支持率を維持したドゥテルテ政権

2016年6月30日の政権発足直後には86%(同年9月)という高い支持率(approval rating)を記録、その後も88~75%の幅を上下しながら、19年12月には87%に達し、信頼度(trust rating)もほぼそれに沿って動いている(パルスアジア)。同調査の2020年9月支持率は、Rapplerほかマスコミが91%と報じている。2000年以来、エストラダ政権、アロヨ政権、ノイノイ・アキノ政権が発足後は高支持率であっても次第に30%程度、あるいはより大きく低落し、ドゥテルテ大統領のみ(少なくとも就任後3年間は)高レベルを維持している。



【図】パルスアジア調査によるドゥテルテ政権の支持率・信頼度

「高い」支持率が続く3つの理由

過大評価されているとしても、政権支持率はけっして低迷してはいない。それには①分断、②アメとムチ、③規範力の後退という、フィリピン政治にとどまらない深刻な状況を(わが身=日本の状況も振り返りつつ)考慮する必要がある。

分断: フィリピンの政権批判勢力はCPP-NPA-NDF系とそれ以外に大きく分断され、地域ごとに州・市町・バラングイレベルの政治勢力間に対抗と協力関係、また集合離散があつて、まとまりを欠いている。反マルコス独裁で見られたような連携は、いまはほとんど存在しない。

アメとムチ: ドゥテルテ政権は発足後すぐに大幅な昇給を命じた軍・警察をはじめ、官僚組織全体を掌握し、活用している。政府、議会、裁判所を影響下に収め、三権分立どころか、効果的に動員。最貧困層に対し、現金や食料の提供、医療、さらに犯罪抑止といった何らかのアプローチが不十分ながらも浸透しはじめ、政権支持拡大につながっている。むろん当然の権利としての給付ではなく、恩恵のパラマキだ。またその裏側には、異論を許さない雰囲気、つまり恩恵から外され、批判しているとみられたら生命すら危険に晒されるという恐怖の要因もある。

規範力の後退: 人権とそれにもとづく民主政治という国際規範がフィリピンだけでなく世界的に後退している。フリーダム・ハウス報告書「民主主義の後退」(2019年)は「民主主義の後退は、世界全域で見られ」と指摘。そこには欧米とは異なる、権威主義的「もうひとつの成功モデル」としての中国の影響力の拡大も作用をおよぼす。コロナ禍とそれに起因する経済の停滞や社会不安は、中国のような、より強力な統治へと人びとをかき立てていく危険性もある。(横山正樹)

フィリピン人権ニュース【解説、コラム】

各ニュースの
詳細はこちら鉱物資源に呪われた国
フィリピン (1)

2021年4月15日、ドゥテルテ政権は行政命令第130号を発令、9年間にわたる新規鉱山開発のモトリアムを廃止。2012年にアキノ政権によって施行された同命令第は、鉱山の開発に伴う環境破壊、先住民権利を含めた人権、利益分配、反政府武装勢力に関する深刻な被害を考慮した上で、新規の鉱山開発プロジェクトの手続きを一時的に停止するものであった。今回は、前半で一般論としての資源産業の活発化が及ぼし得る負の社会影響について説明し、後半では、資源開発に振り回されたフィリピンのこれまでの40年を振り返る。(栗田英幸)

「慰安婦」サバイバー
～ロラたちの闘いは続く～

リラ・ピリピーナが1992年に設立されて以来、ロラ（おばあさん）たちは日本政府による公式の謝罪、法的な補償、「慰安婦」に関する事実を次世代に伝える歴史教育を求めています。その要求は受け入れられないままです。

ドゥテルテ政権はリラやその上部組織である全国的な女性団体ガブリエラへの締め付けを強めています。例えば、2020年3月に首都圏警察はリラをレッド・タッキングしました。リラ・ピリピーナは弾圧から身を守りながらロラたちの健康や生活を支え、ロラたちと正義を求める闘いを続けています。(福田美智子)

フィリピン和平交渉の行き
詰まり一何が問題なのか (1)

2016年に再開した政府と共産党の和平交渉はその後あえなく頓挫した。政府は再び力の論理に戻り、現段階で交渉再開の見通しはない。なぜこうなってしまったのか。30年以上に及ぶ交渉はなぜ実を結ばないのか。今回はその第1回。紛争の歴史を辿り、争点を確認するところから始める。

1930年フィリピン共産党(PKP)～抗日フクバラハップ～ホセ・マリア・シソンがフィリピン共産党(CPP)新人民軍結成、武闘路線～EDSA革命後、CPP-NPA分裂弱体化、辺境拠点に武闘継続。(松野明久)

カルバリヨ 西ネグロス農村の
草の根民衆の演劇を通じた抵抗

フィリピン西ネグロス州ラカルロータ市バランガイ・ラグランハを中心とする、セント・ヴィンセント・フェレール(SVF)小教区では毎年イースター聖週間のグッドフライデーに、少々ユニークなキリスト受難劇「カルバリヨ(Kalbaryo)」が行なわれている。COVID-19パンデミックの中、今年も行われた。

マルコス独裁末期、軍の暴力を日常的に受けていたナガシ農園(Hacienda Nagasi)の青年たちが1986年から文化運動として始めたTaltalが起源。現在の人びとの苦難をキリストの受難になぞらえる。(平井朗)

ご寄付のお願い

Stop the Attacks campaign (SAC) の活動はみなさまのご支援により支えられています。

ご寄付には二つの方法があります。

毎月定期的な寄付

こちらから簡単にお手続き頂けます。
(Good Morning <https://community.campfire.jp/projects/view/428272>)

ゆうちょ口座への
単発の寄付

銀行からのお振り込みの場合

店名: 〇九八

店番: 098

種目: 普通預金

口座番号: 3830295

口座名: NGO Stop the Attack Campaign (エヌジーオー ストップ ザ アタック キャンペーン)

ゆうちょ銀行からお振り込みの場合

記号: 10940

番号: 38302951

口座名: NGO Stop the Attack Campaign (エヌジーオー ストップ ザ アタック キャンペーン)